

令和 4 年 9 月 5 日現在

機関番号：82610

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2019～2021

課題番号：19K11187

研究課題名(和文)高齢者の全人的健康に向けた持続可能な地域構築のために有効な支援プログラムの開発

研究課題名(英文) Developing effective support programs to build sustainable communities for the holistic health of older people

研究代表者

樋口 まち子 (Higuchi, Machiko)

国立研究開発法人国立国際医療研究センター・その他部局等・国立看護大学校 教員

研究者番号：40335584

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,100,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、人口の高齢化を達成した国民総所得が低い途上国において、限定的な経済環境にあっても自分が納得する質の高い人生を終えるための条件や要因を明らかにすることを目的とし、スリランカの高齢者の生活状況や高齢者に対する行政及び民間の支援状況を把握し、高齢者が人間として尊厳を確保しつつ自分らしい人生を全うするための適切な支援政策策定へ提言することを目的とした。インフォーマントからの聞き取り調査と地域踏査及び高齢者支援活動の観察調査によって、官民連携のもと、地域住民が中心となり、全国規模で高齢者支援活動が展開されているが、担当する住民の知識や経験の相違が活動状況に格差が生じていることが明らかとなった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

地域で高齢者支援を担当する住民に対する研修内容の改善および担当部署職員が現地に出向き日常的に活動をサポートすることによって、高齢者支援プログラムの活性化が期待できる。また、地域保健分野の専門家配置の見直しと地域における公的な介護サービス制度の確立が急務であるとともに、高齢者が育んできた個々の人生観に即した支援プログラムの構築に向けたさらなる詳細な現状把握の必要性が示唆された。

研究成果の概要(英文)：This project aimed to identify the conditions and factors that drive older adults in developing countries with low gross national income to end their lives. Through interviews with informants, community visits, and observation of older adults' care support activities, we found that, based on strong local and blood ties and religious beliefs, local residents are initiating older adults' care support activities on a nationwide scale under public-private partnerships.

However, these activities differ owing to the knowledge and experience of those in charge of these activities. Additionally, public health midwives and public health inspectors are the main professionals assigned to the communities. Their area of expertise is limited to taking measures to prevent infectious diseases and providing maternal and child care. Hence, the needs of older adults of such communities largely remain unfulfilled.

研究分野：高齢者看護学および地域看護学関連

キーワード：高齢者 全人的健康 持続可能 地域支援プログラム

1. 研究開始当初の背景

近年、世界的に高齢化が進み、人類は長命という目標を達成しつつある。一方、先進工業国を中心に、自らが納得できるような人生の終焉を迎えることのできない高齢者が増加している。社会の近代化に伴い、都市部人口の増加と地方の過疎化が進み、多縁の煩わしさからの解放も果たしたが、若年からの心身および経済的な自立の準備性がないために、フレイルや孤独感の自己コントロールができず、健康寿命を縮める結果を招いている。さらに、医療費を中心とした支出の増加が、高齢者の経済的貧困を助長し、人間としての基本的欲求である衣食住が満たされないという負の連鎖に陥り、自己実現を果たすことができず生命を閉じる人々が増加している。

そこで、本研究は、人口の高齢化を達成した国民総所得が低い途上国において、限定的な経済環境にあっても自分が納得する質の高い人生を終えるための条件や要因を明らかにすることを目的とした。国民の25%が1日2ドルの以下の経済状態にありながら、平均余命78歳を達成し、生活習慣病が増加するなど先進工業国と類似した健康問題に直面しているスリランカの高齢者の生活状況や高齢者に対する行政および民間の支援状況を把握し、高齢者が人間として尊厳を確保しつつ自分らしい人生を全うするために適切な支援政策策定への提言をする。

それによって、世界的規模で超高齢化を迎えるライフシフト時代に対応するための個別性を重視した政策づくりに繋がる新規性に富んだ成果が期待できる。

2. 研究の目的

人口の高齢化を達成した国民総所得が低い途上国において、限定的な経済環境にあっても自分が納得する質の高い人生を終えるための条件や要因を明らかにする。

3. 研究の方法

スリランカにおいて、関係省庁の担当官へのインタビューと政府刊行物の入手、高齢者に対する地域支援政策の現状を把握した。また、高齢者を支援するスリランカ国内の国際機関やNGOや宗教団体の関係者から支援の実態について聞き取るとともに、地域における高齢者支援部門における業務の実態を把握し、分析した。

4. 研究成果

(1) スリランカは急速な人口の高齢化の中で、2000年に、高齢者の人権保護条例が施行され、2006年以降、国家政策として健康、社会福祉、経済的支援に焦点を当て、社会的エンパワーメント福祉省および保健省が政策実施の責務を担っている。また、アジア開発銀行、国際保健機関のほかNGO、さらに宗教団体が高齢化対策における国家のミッションに則した支援を行っている。これらの国家政策の実施は全国の州・県・市町村が担い、均一に展開されている。他方、事業の運営・実施には地域住民のピアサポートを通じた地域全体のエンパワーメントが期待されているが、地域ごとに高齢者が受ける支援は、地域の潜在力によって、格差が生じている。

したがって、地域で高齢者支援を担当する住民に対する研修を持続的に実施するとともに、担当部署の職員が定期的に現地に出向いてプログラムに参加し、日々変化する高齢者のニーズを把握しつつ、高齢者のみならず、プログラムを運営する地域住民がさらにエンパワーメントすることの必要性が示唆された。

(2) 地域に配属されている主なる保健医療の専門職は母子保健や感染症予防を担当する助産師や衛生管理士であるため、高齢者の健康の維持増進に十分に対応できていないことが明らかになった。そのため、地域保健分野の医療専門職の人員配置や基礎教育および卒後教育などの見直しが急務であることが示唆された。

(3) 地域住民は近代医療と伝統医療の双方を疾病の予防と治療に活用し、寺院が地域行事の中心的役割を担い、宗教が生活観/人生観の軸となっていることが明確になった。したがって、スリランカの高齢者が培った人生観を多角的に把握するために高齢者が信仰する宗教ごとに、地域の保健活動に果たす宗教施設の役割および教育課程における各宗教の位置づけを調査・分析することの重要性が示唆された。

(4) 地域住民の99%は、同じ敷地内の別棟を含めて家族と生活しており、高齢者が物理的に完全に孤立する可能性は少ないが、急速な生産構造の変化や家族構造の変化に伴い、世代間格差が拡大することが予測されることから、経済的精神的準備性のないまま高齢になった人々の生活実態や精神心理的状况を明らかにする必要性が示唆された。

なお、本研究は開始直後よりCovid-19の感染拡大によって渡航が制限され、現地調査が限定的状況の中で実施することを余儀なくされた。

<引用文献>

Ministry of Health, Nutrition and Indigenous Medicine 2017, National Elderly Health Policy.

World Population Ageing 2019, United Nation, Department of Economic and Social Affairs Population Division, ST/ESA/SER.A/430

file:///E:/2021%20Nursing%20summit/WorldPopulationAgeing2019-Highlights.pdf

Machiko Higuchi, Traditional Health Practice in Sri Lanka, VU University Press, 2002.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計1件（うち査読付論文 1件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 Machiko Higuchi, Chandani Liyanage	4. 巻 4(1)
2. 論文標題 Factors Affecting Quality of Life Among Independent Community-Dwelling Senior Citizens in Sri Lanka: A Narrative Study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Asian Journal of Social Science Studies	6. 最初と最後の頁 20-29
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.20849/ajsss.v4i1.554	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計2件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 2件）

1. 発表者名 Machiko Higuchi
2. 発表標題 Factors of improving care to senior citizen with dementia in Japan: A literature research
3. 学会等名 15th International Nursing Conference（国際学会）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Machiko Higuchi
2. 発表標題 Community development for quality of life among senior citizens
3. 学会等名 20th Annual thinking qualitatively virtual conference（国際学会）
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

6. 研究組織

氏名 （ローマ字氏名） （研究者番号）	所属研究機関・部局・職 （機関番号）	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------